



平素は本校教育活動にご理解・ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、保護者の皆様にはお忙しい中、今年度後半の学校評価にご協力いただきありがとうございます。同時期、児童には日頃の学習や学校生活の様子について、教職員には日常の授業や家庭との連携、学校運営への参画等について、実現度をはかる自己評価を実施しました。

私たちは保護者の皆様の評価と児童の自己評価を通して、学校の日頃の取組を見直すきっかけにするとともに、保護者・地域の皆様と一緒に、よりよい教育のあり方を探っていきたく考えています。

学校評価特別号では、前回（令和7年度前半）の結果と比較し変化が見られた項目について分析を行い、グラフと考察を記載しました。全ての項目のグラフは、ホームページに掲載しています。合わせてご覧ください。

< R7前半の結果と比べて >

児童ではほとんど同様の結果となりました。肯定的回答が8~9割を超えており、「よく出来ている」の回答が半数を超えるものも多かったです。年間を通して、自分のめあてを意識して学習や生活に取り組めた子どもたちが多かったようです。保護者において、「GIGA端末を活用しているか」については「よく出来ている」の回答が増加しましたが、その他は大きな変化が見られませんでした。「確かな学力」では否定的回答が減少した項目が複数ありました。子どもたちの姿を通して、学校の取組をよりご理解いただけたためだと考えます。「健やかな体」や生活習慣に関わる項目では、保護者と教職員の双方が課題を感じている声はやや増えており、体力の向上や望ましい生活リズムの定着について、引き続き取組を強めていく必要があると考えております。学校では今後も、日々の運動習慣づくりや健康教育をさらに充実させ、ご家庭とも連携しながら子どもたちの健やかな成長を支えてまいります。「紫竹校の取組」の一つである「会話のキャッチボール」は、朝会等でボールを使って繰り返し話をする中で、子どもたちにも浸透し成果を感じることができました。今回のアンケートでいただいた声をもとに、よりよい教育活動を目指して改善と工夫を重ねてまいります。今後とも、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

< R7後半の紫竹小学校の傾向 >

確かな学力

■ よく出来ている ■ 大体出来ている ■ あまり出来ていない ■ 出来ていない

○「進んで自学自習に取り組んでいる」

児童

保護者

教職員



前回のアンケートと比較すると、全体として大きな変化はありませんでしたが、児童では約2%、保護者では約1%ほど否定的な回答が増える結果となりました。特に、「自学自習が十分に身につけていない」という声は依然として寄せられており、学校としても真摯に受け止めております。子どもたちが「自分のためになる学習」を自ら考え、主体的に取り組めるよう、今後も各担任がご家庭との連携を大切にしながら継続的に指導していきます。また、本校では一昨年度より自主学習の充実に取り組んでいます。学習の振り返りが習慣化してきた子どもも増えてきましたが、一方で内容のばらつきや学習目的が不明確なままに進めてしまうなどの課題も見えてきました。こうした成果と課題を丁寧に検証し、今後の自主学習のよりよい在り方を明らかにする必要があると考えています。

○「GIGA 端末を活用して学校や家庭で学習を進めている」



前回のアンケート結果と比べると、児童では「よく出来ている」「出来ている」との回答が約1割増加し、保護者の回答では否定的な意見が約1割減少しました。また、教職員でも「よく出来ている」が約1割増加し、子どもたちの学習への姿勢や学校の取組に一定の成果が表れていることがうかがえます。2学期からは、1年生も2ndGIGA端末の持ち帰りが始まり、ロイロノートの活用も広がりました。今年度は、教職員の研修を充実させるとともに、児童が主体的に学びを深めるために、授業での活用だけでなく、家庭学習や自主学習にもつなげられるように努めてきました。また、情報モラル教育やデジタルシチズンシップ教育も大切にし、端末の安全で適切な使い方について継続的に指導しています。ご家庭でも、GIGA端末の適切な使い方について話し合ってください、よりよい活用となるようご協力をお願いします。

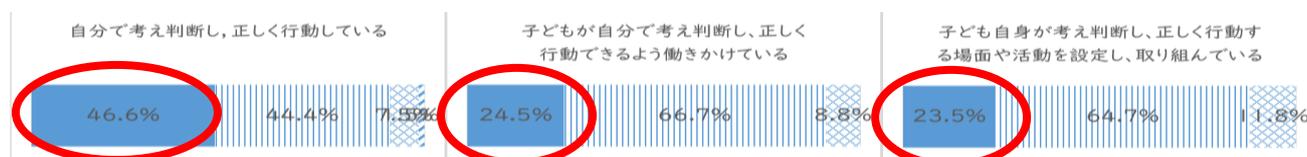
○「めあてをもって、進んで授業に取り組んでいる」



今回のアンケートでは、児童・保護者ともに前半と大きな変化は見られませんでした。しかし、「確かな学力」に関する他の項目と比べて「よく出来ている」の割合が高く、肯定的なご意見が多く寄せられました。本校では「主体的に学びに向き合う子どもの育成」をめざし、授業公開や研究発表会などの教職員研修を継続して行ってきました。子どもたちが意欲的に学習へ取り組む姿から、授業改善の成果を実感できたことが、この評価につながったと考えています。一方で、今回も約1割の児童から否定的な回答が見られました。子どもたち一人ひとりの学びに寄り添い、つまずきや不安を丁寧に受け止めながら、さらに主体的に学べるよう支援していきます。

豊かな心

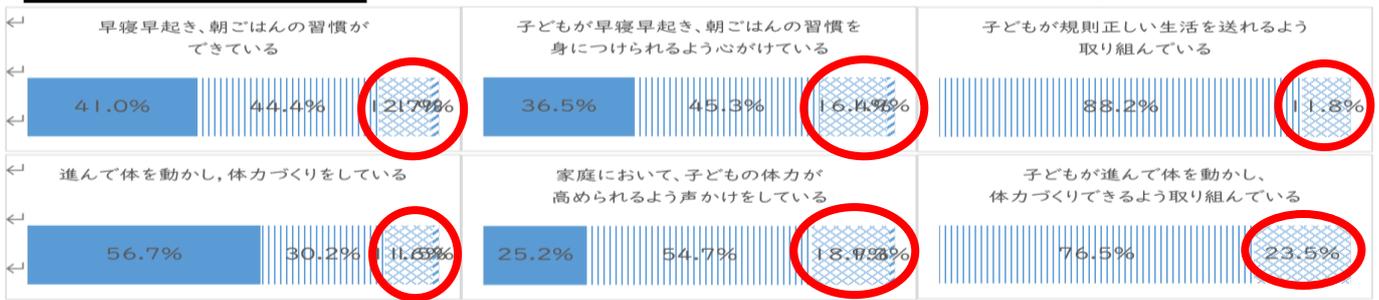
○「自分で考えて判断し、正しく行動する」



「豊かな心」については、児童・保護者・教職員のいずれからも、全体的に多くの肯定的な回答が寄せられました。しかし前半と同様に、「自分で考えて判断し、正しく行動する」という項目では、「よく出来ている」と答えた児童の割合が他の項目より低く、否定的回答も約1割見られました。今年度後半には、11月のふれあい参観で学年に応じた人権学習に取り組み、12月のふれあい朝会でも「人権」をテーマに、相手を大切にするこの意味をみんなで考えました。朝会で続けている「会話のキャッチボール」を通して、相手の思いに寄り添う姿勢が育ってきたこともあり、「自分も友達のよいところを見つける」では「よく出来ている」が大きく伸びる結果となりました。今後も、子どもたちが自ら考え、判断し、正しい行動を選択できるよう、教育活動全体を通して取組を継続していきたいと考えます。

健やかな体

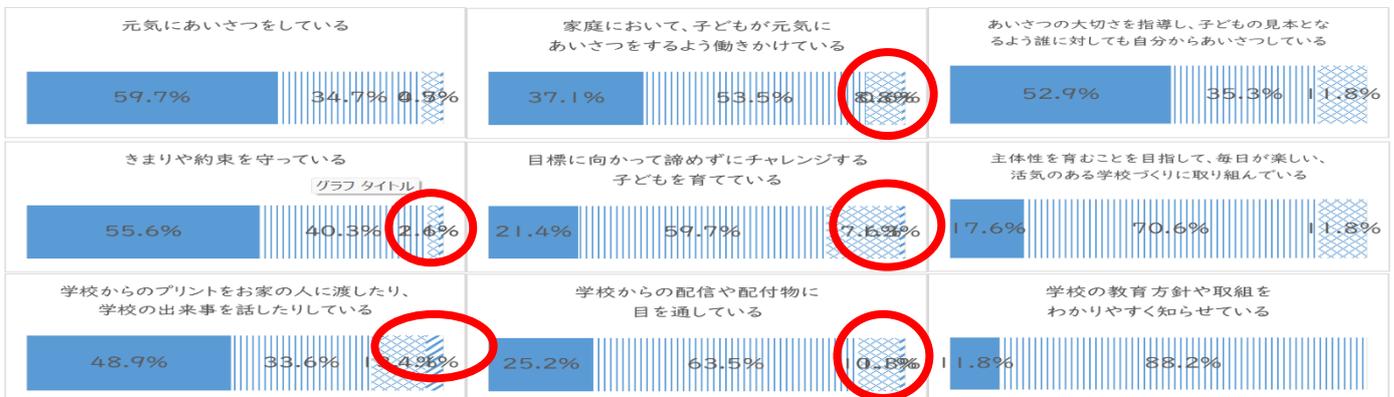
- 「早寝早起き、朝ごはんの習慣ができています」
- 「進んで体を動かし、体力づくりをしている」



「健やかな体」については、前半と同様に、約1割の児童が早寝早起きや運動などの望ましい生活習慣を十分に意識できていないことが分かりました。冬休み明けの「すこやか週間」の結果からも、学年が上がるほど就寝時刻が遅くなる傾向が見られ、低学年でも夜10時を過ぎる児童が少なくありませんでした。高学年では、夜12時を過ぎて就寝する児童もあり、年齢に応じた睡眠時間の確保が必要であると感じています。一方で、朝ごはんを食べていない児童はほとんどおらず、この点は大変よい傾向です。運動習慣については、保護者・教職員ともに否定的回答が2割を超え、約1割の児童が十分に運動できていない状況が続いています。学校としても、体育の授業や休み時間の外遊びなどを通して、子どもたちが楽しみながら体を動かす機会をこれまで以上に増やしていきたいと考えています。また、食事・運動・休養・睡眠のバランスが整った生活は、心身の健やかな成長につながります。ご家庭でも、生活習慣の見直しや運動への取組について、引き続きご協力をお願いいたします。

紫竹校の取組

- 「元気にあいさつしている」
- 「きまりや約束を守っている」
- 「お家の人に学校からのプリントを渡したり、学校の出来事を話したりしている」



児童・保護者・教職員のいずれにおいても前半とほぼ変わらず、肯定的回答が90%を超える結果となりました。「元気にあいさつをしている」については、5・6年の計画委員がポスターを作成し、あいさつの大切さを伝える取組を進めたことで、児童の意欲を高める効果が見られました。また、保護者や地域の皆様に見守りや声かけをしていただいていることにも深く感謝しております。今後も、社会とつながりを持ちながら、子どもたちがよりよく生きるために大切な態度を身につけられるよう努めてまいります。一方で、「きまりや約束を守っている」については、前半同様、否定的な意見が一定数見られました。子どもが学校や家庭できまりを守る力を育むには、日々の声かけや関わりが大切です。学校でも、きまりの意味や必要性を考えられる取組を続け、ご家庭と連携して支えていきたいと考えています。また、今年度も「すぐーる」の活用が進み、お知らせやアンケート等の配信を行ってまいりました。多くの保護者の皆様にご利用いただき、ありがとうございます。今後も配信を継続し、学校生活の様子や成長を共有できれば幸いです。

<自由記述より>

このたびの学校評価アンケートでは、教育活動に関するご意見・ご感想を多数お寄せいただき、ありがとうございました。保護者の皆さまが真剣に学校評価に取り組んでくださったことに、心

より感謝申し上げます。いただいたご意見は、学校として真摯に受け止め、今後の教育活動に活かしてまいります。

【2ndGIGAについて】

「タブレットを使って自由に学習できるようにしてほしい。」

- 「 1) iPad に移行後、操作性も上がり自宅学習でもっと活用してほしいのですが、教科書の重さやランドセルに入らない等の理由で iPad を学校に置いてくる機会が多いです。荷物の軽量化のために、(たまには)置いて帰ってもよい教科書やノートがあれば教えてほしいです。
- 2) 他の保護者の方ともお話ししていたのですが、iPad (GIGA) を活用することで、チャレンジ等の各家庭のタブレット学習のコストを減らせればとの意見もありました。
- 3) iPad を持ち帰った際、情報を検索したり、スクショをとったり、情報を活用する機会が増えたように思いました。著作物の引用、肖像権、ネットリテラシーやネットマナー等、前倒しでの学習が必要かと思いました。この点は親世代も認識の差があり、迷う点があるため、教育現場で活用されている指針や資料等があれば、親も含めて教えてほしいです。」

本校では、タブレットを活用した学習を進めています。児童が主体的に学びを深めるために、授業での活用だけでなく、家庭学習や自主学習にもつながるよう取り組んでいます。学習の機会を広げる一方で、情報モラル教育、デジタルシチズンシップ教育も大切にしています。今後も、効果的な活用方法を探りながら、児童が安心して学べる環境づくりを進めていきます。

1) 荷物の軽量化について

現在、教科書やノートの置き処については、学年や学習の状況に応じて担任が判断し、荷物の軽量化に努めています。今後も、ICT 活用と荷物の軽量化の両立に向けて、学校全体で進めていきます。

2) コスト面について

各家庭での学習コスト削減につながるよう、学校ができることについて具体的なご希望がありましたらお知らせください。

3) 情報モラル教育について

本校では、学年に応じた指導を計画的に行っています。保護者の皆様にも家庭教育学級「情報モラル教室」を開催いたしました。今後も理解を深めていただけるような取組を進めていきます。

【学校行事について】

「いつも、丁寧な指導と適切で迅速な対応をしていただき感謝しております。学校生活には子どもも満足しており、安心して生活を送っていますが、近隣の他の小学校に比べて、遠足等の行事がやや少ないように感じることがあります。学校によって特色がありそれぞれで設定されてるとは思いますが、可能であれば、子どもたちもいろんな経験ができたらいいなと感じています。またご検討していただけましたら幸いです。」

「行事を増やすのは難しいかもしれませんが、遠足や社会見学など学校外へ出掛けて学習するような授業も増やして欲しいと思います。座って授業を受けるだけではないような内容も取り込んでいただければと思います。」

「校外学習に出かけた際の活動時間にもう少し余裕があるとよいと思います。せっかくの良い機会や取り組みなので、じっくり活動できるとより良いと思います。」

お子さんが学校生活に満足し、安心して過ごされているとのこと、大変うれしく思います。行事や校外学習の機会を増やしてほしいというご要望、また活動時間に余裕を持たせてじっくり取り組めるようにとのお考え、どちらも子どもたちの学びをより充実させるために大切な視点と受け止めております。いただいたご意見を参考に、今後さらに工夫できる点を検討していきます。

「運動場に遊具がもっとあってほしい。体育参観で、こどもが一所懸命にやっているのに、関係のない話を大きな声でしている保護者が紫竹には多く、残念に思った。」

「体育発表会ではなく、運動会に戻ることはあるのでしょうか？子どもたちが運動会を知らずに大きくなっていくことに寂しさを感じます。」

「運動会のかげこはゴールテープがあってもよいのではないのでしょうか。」

「運動会をコロナ前の様な形に戻して欲しい。飾りも、音楽もなく、寂しく感じました。」

運動会を懐かしむお気持ちや、ゴールテープや飾り、音楽などでより華やかにというお考え、また活動中の保護者のマナーに関するご指摘も、子どもたちの頑張りを大切にしたいという思いからのご意見と受け止めております。現在は体育発表会の形で継続していく予定ですが、より充実した内容になるよう工夫を重ねていきます。また、参観時のマナーについては、子どもたちが安心して頑張れる雰囲気を、皆様と一緒につくっていただければと思いますので、今後とも温かいご協力をお願いいたします。

「強いといえば、ですが、授業参観の時間をいつも同じではなく、年に1度は午前中にさせていただけると、参観できる人も増えるのではないのでしょうか。学校と関わりたいけど時間が合わないだけの人かもしれないので。」

授業参観の時間設定について、年に一度でも午前中に実施することで、より多くの保護者の皆様にご参加いただけるのではないかとご提案、ありがたく受け止めております。学校と関わりたいお気持ちがあっても、時間の都合で難しい方がいらっしゃるかと思います。今後の参観日程を検討する際には、いただいたご意見を参考にし、より多くの方にご参加いただけるよう工夫していきます。

【自主学習・宿題】

「毎日強制的な自主勉強ノートをやめてほしい。」

「考える、考えを伝える、アウトプット、フィードバックを増やす。」

「三学期から宿題が増えることを既に憂慮しています。(子供が)」

「自主学習について、月単位で提案があれば良いかと思えます。なぜなら子どもたちに委ねても選択肢がないので。」

「長期休暇の宿題は特に端末よりプリントの方が親がしんちよくの把握しやすくありがたいです。」

本校の「目指す子ども像」の1つに「主体的に学びに向き合う子ども」があります。一昨年度から自主学習を進めていますが、成果と課題を検証し、よりよい在り方を明らかにすべきタイミングと考えています。また、デジタルとアナログのバランスについても柔軟に進めていきたいと思えます。

【学校施設について】

「参観に行った時、トイレのにおいが気になりました…!他はおろそかであったとしても、トイレだけでもきれいであれば、おのずと他はついてくるように思います(> <) トイレをきれいにしていれば(トイレのリフォームが実現したら一番いいなと思えますが、それは難しくても、子どもたちの掃除で一番きれいにできる場所になれば…!), もっとよい学校になると思うので、よろしく願います!」

「おトイレが古く、清潔感も低い気がする。」

「衛生面の強化 いつも、ありがとうございます。」

児童が安心して快適に過ごせる環境づくりは、学校にとって非常に重要な課題と認識しています。トイレにつきましては、日々の清掃や換気を徹底していますが、施設の老朽化に伴い、大規模な改修工事が必要な状況にあります。そのため、今年度は女子トイレの様式化工事を実施しました。今後も計画的にメンテナンスを進めたいと考えているところです。できる限り清潔な状態を保てるよう努め、今後も、よりよい学校環境づくりに取り組んでいきます。

【その他】

「特になし」

「いつもありがとうございます。」他5名

「大変ご尽力いただきありがとうございます。」

「いつもありがとうございます。担任の先生が、丁寧にご指導いただき、安心して学校生活を送ることができています。またジョイントプログラム対策をしていただいたり、本に親しむ環境を作っていただいたりして、学習環境の充実に感謝しています。」

「いつもお世話になりありがとうございます。毎日とても楽しく通学できていることに感謝でいっぱいです。」

担任の指導や学校の取組を評価していただき、大変嬉しく思います。今年もPTA主催「選書会」があったことも、子どもたちが本を好きになる機会となりました。今後も、子どもたちが安心して学び、本に親しめる環境づくりに努めてまいります。

「最近細かい文字を読むことが億劫になりつつあります。学校だよりなど大切だと思うのですが、びっしり文字が詰め込まれていると読みにくい。スマホの画面で大きくできるとは言え、大きくするとどの部分を読んでいたのかがわからなくなってしまいます。校長先生のお人柄やとても良いお話を書いてくださっているのに、読みづらく感じる。スマホ画面で見ることを想定して工夫していただくことは出来ないのでしょうか?かと言って何か良い方法は思い浮かばないので申し訳ありません。」

学校長の思いや学校の取組をお伝えする大切な機会である一方、スマートフォンで閲覧する際に文字が詰まっていたり読みにくいという点については、重要な課題と認識しました。

今後は、見出しを活用する・余白を増やすなど、保護者の皆様にとって、より読みやすく、情報が届きやすい学校だよりを目指して改善していきます。

「紫竹小の話だけではないのですが、とても感謝している先生が処分を受けたり退職されたり、残念なことが何回かありました。先生方が、仕事や責任に関しても個人で背負わず、お互いフォローし合える環境、何かあった時に守ってもらえるように。。ご自身の生活も大切にできるように望みます。」

「学校が正しい倫理観をもち先生によって偏ることのないようお願いしたいです。今できてないということだけでなくこれからも変わらないで欲しいです。言って良いこと悪いことが増え、先生方にとって変なリスクが増えたように感じています。心ある先生方が残念な形で辞められたケースに何度か出会っているので、そんなことがないように。先生が教育に専念できる環境を望んでいます。」

学校としても、児童の健やかな成長を支えるためには、教職員が安心して仕事に専念できる環境づくりが不可欠だと考えています。今後も、教育活動において公平性と正しい倫理観を保ち、個人に過度な負担がかからないよう、教職員同士の連携やフォロー体制の強化に努め、組織として支えられる仕組みを大切にしていきます。保護者の皆様と学校が信頼関係を築きながら、教育の質を高める取組を続けていきます。

「通知表の評価基準をわかりやすく明示してほしいです。(懇談では一学期よりとても良くなったと褒めて頂きましたが、通知表の小項目の評価は変わっておらず、どんな基準で評価されているのかわかりませんでした。)」

評価について、何がどのくらいできるようになったのか、なぜこの評価なのかなどを分かりやすく説明することを今後心がけます。ご不明な点があれば、遠慮なく担任までお尋ねください。

「英語学習は専門の先生をお願いしたいです。」

小学校英語では、コミュニケーションを図る素地・基礎となる資質・能力を育成することを目標にしています。他教科同様、指導者は教材研究をしたり、研修を受けたりして自己研鑽に努めています。子どもたちの「自分の言いたいことが伝わって嬉しい。」「相手の言いたいことが分かって嬉しい。」という気持ちをもてる授業づくりを今後も目指します。

「いつもご指導いただきありがとうございます。①コロナ禍で入学し、数年間は各種の体験活動が制限されましたが、今年度、制限の中でも工夫した学校行事や学習活動を実施していただいているなど感じています。娘は卒業しますが、限られた中での工夫した学習活動を継続し、地域の子どもたちが大人になっていくことを支えていただけたらと願っています。②数年前に総合遊具(大型遊具)を撤去されましたが、ぜひ再設置していただきたいです。幼稚園保育園、地域の公園では、あのサイズの遊具はありません。③通学路について。朝、玄以通猪熊通の交差点(児童館の西側)を、北上したり東行したりしている子どもを数人みかけます。たしか、この交差点は北側のみ通行可で南北に渡る横断歩道と南側の東西に渡る横断歩道は通行不可だったと記憶していますが、通学路の変更があったのでしょうか。以前声をかけたら、「お母さんがここを渡りなさいって言っている」と言われ、それ以上何も言えませんでした。」

- ① いただいたお言葉を励みに、今後も子どもたちが豊かな経験を積みながら成長できるよう、創意工夫を続けてまいります。
- ② 総合遊具(大型遊具)については、昨年度安全面の理由から撤去しました。遊具の再設置については、今のところ予定はありません。ご了承ください。
- ③ 通学路について、ご指摘ありがとうございます。本校では集団登校を実施していないため、通学路に関する指導や保護者の方に協力をお願いする機会が少ないのが現状です。そこで、通学路に関する安全指導として、「自分の通学路を確認する。」「児童館の西側の通りを「猪熊通」と呼ぶことを知らせ、登下校時、北山通～玄以通の猪熊通との交差点は南北、東西ともに通れないこと、また、玄以通と猪熊通との交差点は玄以通の北側のみ通れる」ことを確認しました。保護者の皆様には、すぐーるを配信しました。今一度お子さまの通学路について確認をお願いします。また、気になる様子がありましたら学校までお知らせください。

「小学校、中学校で引落とし銀行を統一してもらいたい。」

利便性の観点からのご提案と受け止めております。貴重なご意見として教育委員会へ報告します。